



## 平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月10日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東 札  
 コード番号 4320 URL http://www.ce-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 恵昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 松澤 好隆 TEL 011(861)1600  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成27年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	5,513	△5.4	△27	—	4	△99.3	△61	—
26年9月期第3四半期	5,826	14.5	662	29.1	695	25.8	395	13.7

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 △60百万円(—%) 26年9月期第3四半期 384百万円(12.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	△17.24	—
26年9月期第3四半期	110.98	105.98

(注) 27年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	5,320	3,722	67.3
26年9月期	5,450	3,723	67.9

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 3,582百万円 26年9月期 3,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 26年9月期期末配当の内訳 普通配当 15円00銭 東京証券取引所市場第一部指定記念配当 5円00銭

### 3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,416	△1.3	101	△86.0	142	△81.4	12	△97.3	3.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期3Q	3,703,700株	26年9月期	3,703,700株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	104,064株	26年9月期	140,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期3Q	3,568,251株	26年9月期3Q	3,563,636株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	8
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
4. 補足情報 .....	11
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、企業業績は総じて改善傾向にあり、緩やかな回復基調が続いているものの、海外景気の下振れ懸念など、依然として先行きは不透明な状態が続いております。

ソフトウェア業界におきましては、ソフトウェア投資は緩やかに増加しており、全体としては底堅く推移しております。

当社グループが事業を展開しております医療情報システム業界におきましては、「地域医療構想」の策定が進められる中、病床機能の再編に向けた取り組みが、医療機関に求められております。また、医療介護総合確保推進法に基づき、各都道府県に設置された「平成27年度 地域医療介護総合確保基金」(医療分：904億円、介護分：724億円)により、ICTを活用した医療情報連携ネットワーク事業等、ICTの活用が期待される事業計画も出ております。医療の質向上や効率化に寄与する統合系医療情報システムの普及が進む中、今後も医療ICT関連事業の推進、とりわけ電子カルテシステムや地域医療連携システム、医療介護連携システムの普及推進が期待されております。このような状況に対し、当社グループは、政府が推進する地域包括ケアシステム[1]の構築を見据え、医療介護連携に係るシステムの提供を新たに開始いたしました。

当社グループの主力事業である電子カルテシステム事業におきましては、平成21年度から平成24年度補正予算によって各都道府県に設置された「地域医療再生基金」対象事業の計画期間が、平成26年3月末をもって概ね終了したことや、消費税率の引き上げ等から、医療機関のシステム投資が停滞傾向となる中、積極的な営業活動に取り組み受注を回復し、平成27年4月以降の収益に貢献することを見込んでおりましたが、受注の確定がずれ込むなど、平成27年4～6月期も低調に推移する結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,513百万円(前年同期比5.4%減)となりました。利益面におきましては、受注獲得のための競争激化や顧客との将来を見据えた取引などから採算性の低い検収物件が多く、一部については不採算となるものもありました。また、人員体制の強化や営業拠点の拡張など、固定費の増加もあり、売上総利益801百万円(前年同期比40.9%減)、営業損失27百万円(前年同期営業利益662百万円)、経常利益4百万円(前年同期比99.3%減)となり、四半期純損失は、繰延税金資産の一部が減少したことによる法人税調整額計上等の結果、61百万円(前年同期四半期純利益395百万円)となりました。また、受注状況につきましては、受注高4,352百万円(前年同期比24.9%減)、受注残高1,837百万円(前年同期比31.9%減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### [電子カルテシステム事業]

電子カルテシステム事業は、「MI・RA・Is(ミライズ)ユーザーフォーラム[2]」の活動等を通じてユーザーニーズの把握に努め、製品の機能強化に取り組むとともに、品質マネジメントシステムの構築を継続的に推進し、顧客満足度の向上並びに製品・サービスの品質確保を図ってまいりました。主力の電子カルテシステム「MI・RA・Is/PX」などの医療情報システムの販売につきましては、新規及びシステム更新案件の開拓、並びに地域医療介護総合確保基金に関する事業の取り込み注力してまいりました。また、看護業務支援システム「ナース物語」シリーズ[3]につきましては、電子カルテシステムと親和性が高い部門システムとして、「MI・RA・Isシリーズ」とともに、その拡販に取り組んでまいりました。健康・医療ソリューション「Health Clover(ヘルスクローバー)[4]」につきましては、医療現場のニーズに応えるべく、さらなる機能拡張やサービス充実を図り、「電子カルテ/地域医療連携ソリューション」とともに、政府諸施策を見据えながら販売活動に取り組んでまいりました。また、医療情報システムの受託開発につきましては、地域中核病院を中心に継続的に日本電気㈱から受注し開発・導入作業を行ってまいりました。

当社グループの大半を占める電子カルテシステム事業の業績につきましては、前記の状況により、受注高4,323百万円(前年同期比25.1%減)、受注残高1,836百万円(前年同期比31.9%減)、売上高5,475百万円(前年同期比5.0%減)、セグメント利益65百万円(前年同期比91.7%減)となりました。

#### [その他]

その他におきましては、全世代に発信するヘルスケア関連情報サイト「Mocosuku(もこすく)[5]」のサービス領域拡大を図るとともに、ユーザーニーズを捉えた記事を配信し、記事内容にマッチした誘導リンクを配置することにより、アクセス数の増加、ひいてはサイト価値の向上につなげるべく取り組んでまいりました。また、高齢者向け安否/安心連絡システム「安タッチ(あんタッチ)[6]」を中心に、高齢者向け医療・健康関連システムの提供を推進してまいりました。

その他の業績につきましては、受注高29百万円(前年同期比30.0%増)、受注残高1百万円(前年同期受注残高なし)、配置業事業から撤退したことにより売上高38百万円(前年同期比36.5%減)、セグメント損失68百万円(前年同期セグメント損失104百万円)となりました。

- [1]地域包括ケアシステム 政府が構築を推進している、地域の包括的な支援・サービス提供体制。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制を目指している。
- [2]MI・RA・I sユーザーフォーラム ㈱シーエスアイの電子カルテシステム「MI・RA・I sシリーズ」のユーザーが主体となって運営している情報交換の場であり、より使いやすく、充実したシステムへと発展することを目指し、見学会や情報交換会などの活動を定期的に行っている。
- [3]「ナース物語」シリーズ ㈱エムシーエスが取り扱う看護業務支援システムで、全国700施設以上の導入実績を誇る。看護業務の現場に即した機能性と利便性を有し、看護の効率化を支援する。
- [4]Health Clover (ヘルスクローバー) 医療機関から患者やその家族の携帯電話・スマートフォンに、各種案内や健康コンテンツ等の提供を行うサービス。患者は診療予約や処方履歴・検査結果の参照等ができる。また、診療所から病院のMRIやCTなどの設備を予約することも可能である。
- [5]Mocosuku (もこすく) ヘルスケア関連情報サイト。病院検索や健診案内等、「(Mo) もっと (co) 幸福に (su) 健やかに (ku) 暮らす」ことを望む全ての人に、役立つ情報を提供している。
- [6]安タッチ (あんタッチ) 高齢者向け安否連絡システム。高齢者がiPadの画面ボタンをタッチするだけで、離れて暮らす家族等へ、安否情報(日々の見守り情報)や健康状態などをメールで連絡することができる。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,320百万円となり、前連結会計年度末に比べ130百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が232百万円、受取手形及び売掛金が141百万円増加したものの、仕掛品が459百万円減少したことによるものです。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,597百万円となり、前連結会計年度末に比べ129百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が125百万円、賞与引当金が51百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が130百万円、未払法人税等が174百万円減少したことによるものです。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,722百万円となり、前連結会計年度末に比べ大きな増減はありませんでした。これは主に少数株主持分が118百万円増加したものの、剰余金の配当71百万円と四半期純損失61百万円計上等により利益剰余金が143百万円減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の今後の見通しに関しましては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあつて、緩やかに回復していくことが期待されております。

医療情報システム業界におきましては、政府の方針等により、地域の患者に、効率かつ効果的に連続した医療や介護サービスが提供されるよう、医療機関や介護施設等の機能を分け、それぞれの役割を補完し合う形で、地域医療連携、医療介護連携の構築が進められており、医療・介護等の分野におけるICT化の普及推進が期待されております。また、電子カルテシステム等の統合系医療情報システムにつきましては、大規模病院の普及率が高まる中、今後は中小規模病院での普及が進展するものと見込まれております。

当社グループはこのような環境の中、電子カルテシステム事業におきまして、品質向上・顧客満足度向上のため、品質マネジメントシステムのさらなる推進を図るとともに、「MI・RA・I sユーザーフォーラム」を通じたユーザーニーズの把握や、現場医師からの意見・監修等により、主力製品である「MI・RA・I s/PX」及び「ナース物語」の継続的な機能強化を行ってまいります。また、平成27年7月7日には、医療機関における地域連携室の退院・転院調整業務を支援するWebサービスとして、地域連携室支援サービス「れんさく君」を㈱駆探と共同で開発し販売を開始しております。

販売面におきましては、当初の見込みより遅れたものの、足元では医療機関の医療情報システムに対する投資意欲に回復の兆しが見え始めており、新規案件及びシステム更新案件の開拓のほか、当社グループが展開する地域医療連携、医療介護連携に係るソリューションを強みとして、地域医療介護総合確保基金に関する事業への販売活動も継続的に取り組んでまいります。

その他におきましては、ヘルスケア関連情報サイト「Mocosuku」のサービス領域拡大とサイト価値の向上に取り組むほか、「安タッチ」など的高齢者向け医療・健康関連システムの拡販に努めてまいります。当社グループは、ICTを活用したコンシューマ向けヘルスケア関連サービスや、医療介護連携構築のための情報共有基盤の整備をすすめるべく、今後も業務提携等を通じた当該サービス拡大への取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

平成27年9月期の連結通期業績見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間が営業損失及び四半期純損失となったことと、平成27年7～9月は、利益計上できる見込みであるものの、通期においては、採算性の低下と固定費の増加が影響し、当初の利益予想を大幅に下回る見通しとなりました。つきましては、平成26年11月10日発表の「平成26年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した業績予想を修正することといたしました。詳細につきましては、本日発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、当社グループは、今後も普及が期待される電子カルテシステム市場において、新たな販売提携先の開拓など販売面の強化と、製品の機能強化や他メーカーとのシステム連携など製品の付加価値向上による受注の増加と、生産性の向上による原価低減に取り組んでまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第2四半期連結累計期間において、新たに株式を取得した㈱エムシーエスを連結の範囲に含めております。また、みなし取得日を第2四半期連結会計期間末としているため、第3四半期連結会計期間より四半期損益計算書を連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,479,872	1,712,649
受取手形及び売掛金	705,886	847,654
商品及び製品	1,548	1,384
仕掛品	733,475	274,085
原材料及び貯蔵品	1,237	711
その他	243,876	246,102
貸倒引当金	△1,125	△1,198
流動資産合計	3,164,773	3,081,389
固定資産		
有形固定資産	398,019	384,957
無形固定資産		
その他	81,445	89,147
無形固定資産合計	81,445	89,147
投資その他の資産		
関係会社株式	1,143,142	1,070,590
その他	663,428	694,495
貸倒引当金	△440	△440
投資その他の資産合計	1,806,130	1,764,645
固定資産合計	2,285,595	2,238,750
資産合計	5,450,369	5,320,139
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	611,499	480,755
1年内返済予定の長期借入金	191,932	161,189
未払法人税等	218,983	44,111
賞与引当金	60,164	111,883
その他	271,226	396,782
流動負債合計	1,353,805	1,194,722
固定負債		
長期借入金	330,638	301,850
退職給付に係る負債	—	32,973
その他	42,692	67,937
固定負債合計	373,330	402,760
負債合計	1,727,135	1,597,483

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,136,590	1,136,590
資本剰余金	1,155,807	1,157,316
利益剰余金	1,473,610	1,330,402
自己株式	△76,008	△56,472
株主資本合計	3,690,000	3,567,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,449	14,841
その他の包括利益累計額合計	11,449	14,841
新株予約権	3,180	2,798
少数株主持分	18,603	137,177
純資産合計	3,723,233	3,722,655
負債純資産合計	5,450,369	5,320,139

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	5,826,151	5,513,987
売上原価	4,470,689	4,712,534
売上総利益	1,355,461	801,452
販売費及び一般管理費	692,495	829,409
営業利益又は営業損失(△)	662,966	△27,956
営業外収益		
受取利息	357	285
受取配当金	3,158	3,227
受取保険金	6,594	—
投資事業組合運用益	1,099	7,669
持分法による投資利益	21,548	16,477
その他	5,126	10,108
営業外収益合計	37,885	37,767
営業外費用		
支払利息	5,053	3,880
その他	23	1,020
営業外費用合計	5,076	4,900
経常利益	695,774	4,910
特別損失		
固定資産除却損	5,207	—
特別損失合計	5,207	—
税金等調整前四半期純利益	690,567	4,910
法人税、住民税及び事業税	302,878	40,170
法人税等調整額	11,085	28,446
法人税等合計	313,964	68,616
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	376,602	△63,706
少数株主損失(△)	△18,888	△2,181
四半期純利益又は四半期純損失(△)	395,491	△61,524
少数株主損失(△)	△18,888	△2,181
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	376,602	△63,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,526	3,391
その他の包括利益合計	7,526	3,391
四半期包括利益	384,129	△60,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	403,018	△58,133
少数株主に係る四半期包括利益	△18,888	△2,181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,765,190	60,960	5,826,151	—	5,826,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	480	195	675	△675	—
計	5,765,670	61,156	5,826,827	△675	5,826,151
セグメント利益又は損失(△)	785,375	△104,503	680,872	△17,906	662,966

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信機器販売事業、配置薬事業、健康食品販売事業及びヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△17,906千円は、セグメント間取引消去88,251千円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△93,725千円及びのれん償却額△12,432千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,475,282	38,705	5,513,987	—	5,513,987
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	7,138	7,138	△7,138	—
計	5,475,282	45,843	5,521,125	△7,138	5,513,987
セグメント利益又は損失(△)	65,496	△68,946	△3,449	△24,506	△27,956

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△24,506千円は、セグメント間取引消去85,568千円、報告セグメントに帰属しない一般管理費△102,687千円及びのれん償却額△7,387千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	前年同四半期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	4,235,596	102.6
その他(千円)	30,308	50.8
合計(千円)	4,265,905	101.8

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。  
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。

② 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
電子カルテシステム事業	4,323,117	74.9	1,836,088	68.1
その他	29,072	130.0	1,300	—
合計	4,352,189	75.1	1,837,388	68.1

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	前年同四半期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	5,475,282	95.0
その他(千円)	38,705	63.5
合計(千円)	5,513,987	94.6

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
日本電気㈱	863,420	14.8	399,014	7.2
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院	887,151	15.2	61,349	1.1

本表の金額には、消費税等は含まれておりません。